

## 4. 財 務

### (1) 損益計算書

(単位:千円・% 消費税抜き)

科目	年度 区分	平成30年度	
		金額	構成比率
下水道事業収益		3,788,602	100.0
営業収益		1,087,823	28.7
下水道使用料		1,084,429	28.6
その他営業収益		3,394	0.1
営業外収益		2,700,234	71.3
他会計補助金		1,472,385	38.9
補助金		393	0.0
長期前受金戻入		1,226,684	32.4
雑収益		772	0.0
特別利益		545	0.0
固定資産売却益		—	—
過年度損益修正益		545	0.0
下水道事業費用		3,767,506	100.0
営業費用		3,318,246	88.1
管渠費		107,078	2.9
ポンプ場費		10,627	0.3
処理場費		549,683	14.6
業務費		65,244	1.7
総係費		49,551	1.3
減価償却費		2,521,608	66.9
資産減耗費		14,455	0.4
営業外費用		433,106	11.5
支払利息		407,352	10.8
雑支出		25,754	0.7
特別損失		16,154	0.4
過年度損益修正損		5,854	0.1
その他特別損失		10,300	0.3
純利益		21,096	

※平成30年度より地方公営企業法適用につき、前年度から決算に係る表記を変更しています。

## (2) 貸借対照表

科目	区分	平成30年度	
		金額	構成比率
資産		54,452,674	100.0
固定資産		53,668,691	98.6
有形固定資産		53,668,691	98.6
土地	地	1,393,220	2.6
建物	物	3,655,361	6.7
構築物	物	42,494,042	78.1
機械及び装置	置	5,995,514	11.0
車両及び運搬具	具	1,137	0.0
工具器具及び備品	品	418	0.0
建設仮勘定	定	128,999	0.2
流動資産		783,983	1.4
現金預金	金	570,324	1.0
未収金	金	196,958	0.4
前払費用	用	91	0.0
前払金	金	16,610	0.0

科目	区分	平成30年度	
		金額	構成比率
負債資本		54,452,674	100.0
固定負債		25,402,535	46.7
企業債		25,402,535	46.7
流動負債		2,838,589	5.2
企業債	債	2,255,136	4.1
未払金	金	535,723	1.0
引当金	金	11,204	0.0
その他流動負債	債	36,526	0.1
繰延収益		23,430,903	43.0
長期前受金	金	24,657,588	45.3
長期前受金収益化累計額(△)		1,226,685	-
資本金		2,062,922	3.8
剰余金		717,725	1.3
資本剰余金		696,629	1.3
利益剰余金		21,096	0.0
建設改良積立金	金	-	-
当年度未処分利益剰余金	金	21,096	0.0

### (3) 汚水処理原価構成

①汚水処理費（費用構成）の推移

(単位:千円・% 消費税抜き)

項目	年度 区分	平成30年度	
		金額	構成 比率
人件費		142,866	11.1
修繕費		60,580	4.7
動力費		102,933	8.0
材料費		336	0.1
薬品費		16,534	1.3
委託料		369,112	28.8
減価償却費		265,525	20.7
資産減耗費		14,455	1.1
支払利息		245,041	19.1
その他		65,850	5.1
合計		1,283,232	100.0

②使用料単価・処理原価・経費回収率

項目	年度	平成30年度
有収水量 (千m <sup>3</sup> ) (A)		7,950
使用料 (千円) (B)		1,084,429
汚水処理費 (千円) (C)		1,283,232
使用料単価 (円/m <sup>3</sup> ) (D=B/A)		136.4
処理原価 (円/m <sup>3</sup> ) (E=C/A)		161.4
経費回収率 (%) (F=B/C×100)		84.5

③部門別費用構成  
(汚水処理費)

年度	平成30年度		
有収水量 ( A )	7,950,053 m <sup>3</sup>		
経常費用	汚水処理費 (B)	汚水処理 原価 (B/A)	構成比率
	千円 1,283,232	円 161.41	% 100.0
営業費用	1,038,191	130.59	80.9
管渠費	106,938	13.45	8.3
ポンプ場費	10,627	8.28	0.8
処理場費	516,547	402.54	40.3
業務費・総係費	124,099	96.71	9.7
減価償却費	265,525	206.92	20.7
資産減耗費	14,455	11.26	1.1
営業外費用	245,041	190.96	19.1
支払利息	245,041	190.96	19.1

## (4) 資本的収入及び支出

(単位:千円・% 消費税込み)

科目	年度	平成30年度	
	区分	金額	構成比率
資本的収入		1,629,090	100.0
企業債		1,150,500	70.6
建設改良債		849,200	52.1
その他		301,300	18.5
他会計補助金		79,852	4.9
補助金		263,972	16.2
出資金		128,736	7.9
負担金		6,030	0.4
固定資産売却代金		—	—
資本的支出		3,004,175	100.0
建設改良費		1,180,746	39.3
管渠建設費		620,799	20.7
管渠整備費		62,609	2.1
処理場整備費		419,414	13.9
浄化槽建設費		26,340	0.9
雨水処理費		20,724	0.7
固定資産購入費		30,860	1.0
企業債償還金		1,823,429	60.7
企業債償還金		1,823,429	60.7
資本的収入のうち繰越工事資金		16,610	
収支差引		△ 1,391,695	
補填財源	引継現金及び特例的未収と特例的未払金の差額	138,709	—
	消費税資本的収支調整額	55,493	—
	損益勘定留保資金	1,197,493	—
	利益剰余金処分量	—	—
	計	1,391,695	—

(5) 固定資産明細書(平成31年3月31日現在)

有形固定資産明細書

(単位:円)

資産の種類	期首現在高	平成30年度		期末現在高	減価償却累計額			年 償 却 未 済 高
		増加額	減少額		増加額	減少額	累計額	
土地	1,360,360,813	32,859,025	0	1,393,219,838	—	—	—	1,393,219,838
建物	3,836,960,144	62,785,332	0	3,899,745,476	244,384,073	0	244,384,073	3,655,361,403
構築物	43,113,865,380	654,197,745	13,101,662	43,754,961,463	1,261,282,216	362,466	1,260,919,750	42,494,041,713
機械及び装置	6,719,863,786	292,953,493	1,966,209	7,010,851,070	1,015,587,496	250,219	1,015,337,277	5,995,513,793
車両及び運搬具	1,473,093	0	0	1,473,093	335,719	0	335,719	1,137,374
工具器具及び備品	436,017	0	0	436,017	18,018	0	18,018	417,999
小計	55,032,959,233	1,042,795,595	15,067,871	56,060,686,957	2,521,607,522	612,685	2,520,994,837	53,539,692,120
建設仮勘定	0	1,108,060,462	979,061,435	128,999,027	—	—	—	128,999,027
合計	55,032,959,233	—	—	56,189,685,984	2,521,607,522	612,685	2,520,994,837	53,668,691,147

## (6) 企業債明細書

### ①発行年度別

(単位:円)(平成31年3月31日現在)

発行年度	発行額	借入利率 (%)	償 還 高		未償還残高	備考
			当年度償還額	償還額累計		
S63～H4	3,033,370,000	4.40～4.85	174,284,486	2,696,103,504	337,266,496	
H5～H9	6,400,890,000	2.05～4.75	297,226,291	4,487,438,541	1,913,451,459	
H10～H14	10,863,380,000	0.90～2.20	406,823,135	5,840,635,545	5,022,744,455	
H15	1,538,800,000	2.00～2.10	60,077,984	549,112,462	989,687,538	
H16	1,632,700,000	1.90～2.10	64,127,740	534,460,850	1,098,239,150	
H17	1,074,200,000	2.00～2.30	41,432,959	307,716,903	766,483,097	
H18	1,899,500,000	1.78～2.30	88,486,725	695,561,068	1,203,938,932	
H19	2,196,300,000	0.85～2.20	112,625,635	817,705,231	1,378,594,769	
H20	2,210,300,000	0.70～2.10	143,441,481	1,102,470,341	1,107,829,659	
H21	1,454,600,000	0.90～2.10	93,784,684	613,819,607	840,780,393	
H22	1,496,600,000	0.83～1.90	73,780,768	298,504,342	1,198,095,658	
H23	1,980,300,000	0.71～1.70	91,575,126	263,537,336	1,716,762,664	
H24	1,645,100,000	0.40～1.30	86,116,438	182,109,234	1,462,990,766	
H25	1,515,400,000	0.40～0.60	44,311,273	91,441,829	1,423,958,171	
H26	1,231,600,000	0.30～0.50	43,893,521	44,805,971	1,186,794,029	
H27	2,068,400,000	0.095～0.50	1,387,414	1,892,701	2,066,507,299	
H28	1,508,400,000	0.03～0.22	53,540	53,540	1,508,346,460	
H29	1,284,700,000	0.01～0.70	0	0	1,284,700,000	
H30	1,150,500,000	0.01～0.215	0	0	1,150,500,000	
合 計	46,185,040,000		1,823,429,200	18,527,369,005	27,657,670,995	

### ②事業別残高

事業別	前年度末現在高	当年度発行額	当年度償還額	未償還残高	備考
公 共 下 水 道 事 業	25,752,595,480	1,134,600,000	1,672,001,997	25,215,193,483	
うち雨水事業分	0	17,300,000	0	17,300,000	
特定環境保全公共下水道事業	1,126,137,002	2,000,000	65,768,114	1,062,368,888	
農 業 集 落 排 水 事 業	1,184,735,730	900,000	72,285,640	1,113,350,090	
漁 業 集 落 排 水 事 業	97,612,734	2,900,000	8,194,939	92,317,795	
浄 化 槽 整 備 事 業	169,519,249	10,100,000	5,178,510	174,440,739	
合 計	28,330,600,195	1,150,500,000	1,823,429,200	27,657,670,995	

## (7) 収益及び費用

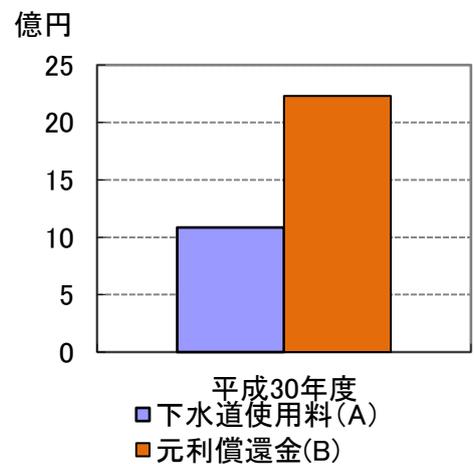
### ① 総収支比率

科目 年度	有収水量(m <sup>3</sup> )	総 収 益		総 費 用		総収支比率(%)
		金額(千円)	単価(円)	金額(千円)	単価(円)	
平成30年度	7,950,053	3,788,602	476.6	3,767,506	473.9	100.6

### ② 下水道使用料と元利償還額比較

区分		年度	平成30年度
下水道使用料(A)			1,084,429
元 利 償 還 額	企業債償還額		1,823,429
	企業債利息		407,352
	計(B)		2,230,781
比率(B) / (A) × 100			205.7

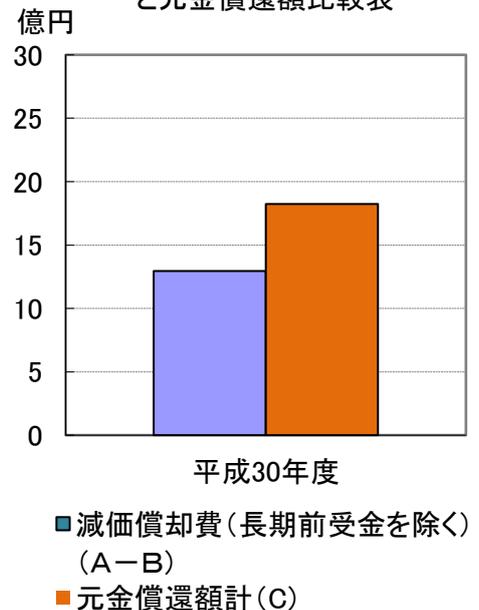
使用料収入と元利償還額比較表



### ③ 減価償却費（長期前受金を除く）と元金償還額比較

区分	平成30年度
減価償却費(A)	2,521,608
長期前受金(B)	1,226,686
減価償却費(長期前受金を除く) (A-B)	1,294,922
元金償還額計(C)	1,823,429
(C)-(A-B)	528,507
比率(C) / (A-B) × 100	140.8

減価償却費(長期前受金を除く)と元金償還額比較表



## (8) 経営分析表

### ① 事業の概要

項 目	単位	平成30年度	比 率
普 及 率	%	97.11	$\frac{79,514}{81,877} \times 100$
進 捗 率	%	97.10	$\frac{79,514}{81,890} \times 100$

### ② 施設の効率性

項 目	単位	平成30年度	比 率
施 設 利 用 率	%	61.58	$\frac{26,567}{43,143} \times 100$
有 収 率	%	76.29	$\frac{7,950,053}{10,421,204} \times 100$
水 洗 化 率	%	91.09	$\frac{72,433}{79,514} \times 100$

### ③ 経営の効率性

項 目	単位	平成30年度	比 率
使 用 料 単 価	円/m <sup>3</sup>	136.41	$\frac{1,084,429,131}{7,950,053}$
汚 水 処 理 原 価	円/m <sup>3</sup>	161.41	$\frac{1,283,232,000}{7,950,053}$
経 費 回 収 率	%	84.51	$\frac{1,084,429,131}{1,283,232,000} \times 100$
職 員 給 与 費 率 対 使 用 料 収 入 比	%	15.43	$\frac{167,329,000}{1,084,429,131} \times 100$

算式	説明
$\frac{\text{処理区域内人口}}{\text{行政区域内人口}} \times 100$	行政区域内人口に対する処理区域内人口の割合。
$\frac{\text{処理区域内人口}}{\text{全体計画人口}} \times 100$	全体計画人口に対する処理区域内人口の割合。

算式	説明
$\frac{\text{晴天時1日平均処理水量}}{\text{晴天時現在処理能力}} \times 100$	施設・設備が一日に対応可能な処理能力に対する、一日平均処理水量の割合であり、施設の利用状況や適正規模を判断する指標である。比率が大きいほどよい。
$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間汚水処理水量}} \times 100$	総汚水処理水量に対する、料金収入となった水量の割合。比率が大きいほど良い。
$\frac{\text{現在水洗便所設置済人口}}{\text{処理区域内人口}} \times 100$	現在処理区域内人口に対する、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合。

算式	説明
$\frac{\text{使用料収益}}{\text{年間有収水量}}$	有収水量1m <sup>3</sup> 当たりの使用料収入であり、使用料の水準を示す。
$\frac{\text{汚水処理費}}{\text{年間有収水量}} \times 1000$	有収水量1m <sup>3</sup> 当たりの汚水処理に要した費用であり、汚水資本費・汚水維持管理費の両方を含めた汚水処理に係るコストを表した指標である。
$\frac{\text{使用料収入}}{\text{汚水処理費}} \times 100$	使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄えているかを表した指標であり、使用料水準等を評価することが可能である。
$\frac{\text{職員給与費}}{\text{使用料収入}} \times 100$	使用料収入に対する職員給与費(退職給付費を除く)の割合を示す。

#### ④ 財政状態の健全性

項目	単位	平成30年度	比率
総収支比率	%	100.56	$\frac{3,788,602}{3,767,506} \times 100$
経常収支比率	%	100.98	$\frac{1,087,823 + 2,700,234}{3,318,246 + 433,106} \times 100$
営業収支比率	%	32.78	$\frac{1,087,822 - 0}{3,318,245 - 0} \times 100$
自己資本構成比率	%	48.84	$\frac{2,062,922 + 717,725 + 23,430,903}{54,452,674} \times 100$
固定資産対長期資本比率	%	103.98	$\frac{53,668,691}{2,062,922 + 717,725 + 0 + 25,402,535 + 23,430,903} \times 100$
企業債元金対減価償却比率	%	57.69	$\frac{1,454,780}{2,521,607} \times 100$

#### ⑤ 老朽化の状況

項目	単位	平成30年度	比率
有形固定資産減価償却率	%	4.67	$\frac{2,520,994}{54,017,467} \times 100$
管渠老朽化率	%	0.55	$\frac{2.81}{507} \times 100$
流動比率	%	32.60	$\frac{783,983}{2,404,964} \times 100$
企業債残高対事業規模比率	%	877.30	$\frac{27,657,672 - 18,114,211}{1,087,822 - 0 - 0} \times 100$

算式	説明
$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	総収益で総費用が賄うことができるかどうかを示すものであり、この比率が100%未満の場合は、収益で費用を賄えないことになり、健全経営とは言えない。
$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$	使用料収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかどうかを示すものであり、100%未満の場合は、経営改善に向けた取組が必要。
$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費}} \times 100$	特別利益、営業外利益及び受託工事といった企業本来の活動と直接結びつかない収支を除外して、企業固有の活動に着目した収益性を示す。高いほうが良い。
$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	負債資本合計に対する自己資本の占める割合を示すもので、比率は大きいほどよいが、起債依存度の高い下水道事業では一般的に低い。
$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$	総資本のうち他人資本の占める割合を示すもので、この比率が大きくなれば、負債の返済により経営を圧迫することになる。比率は小さいほどよい。
$\frac{\text{建設改良のための企業債償還金}}{\text{当年度減価償却費}} \times 100$	総資本のうち他人資本の占める割合を示すもので、この比率が大きくなれば、負債の返済により経営を圧迫することになる。比率は小さいほどよい。

算式	説明
$\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}} \times 100$	償却資産における減価償却済の部分の割合を示し、減価償却の進み具合や資産の老朽化度を示している。
$\frac{\text{法定耐用年数を経過した管渠延長}}{\text{下水道布設延長}} \times 100$	法定耐用年数を超えた管渠延長の割合を表した指標で、管渠の老朽化度を示している。
$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	短期債務に対して応じるべき流動資産が十分あるかどうかを示し、大きいほど支払能力があることを示す。100%以上が妥当な水準である。
$\frac{\text{企業債現在高合計} - \text{一般会計負担額}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益} - \text{雨水処理負担金}} \times 100$	使用料収入に対する企業債残高の割合を示す。企業債残高の規模と影響を分析するための指標であり、値は低いほうが良い。

## (9) 下水道使用料

### ① 下水道使用料の額（1ヶ月につき）

○公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業及び漁業集落排水、公設浄化槽に係る使用料金

適用年月日		平成28年10月1日から	使用料
一般用	基本料金	5m <sup>3</sup> まで	720 円
	超過料金	5m <sup>3</sup> を超え10m <sup>3</sup> まで1m <sup>3</sup> につき	60 円
		10m <sup>3</sup> を超え50m <sup>3</sup> まで1m <sup>3</sup> につき	150 円
		50m <sup>3</sup> を超え5,000m <sup>3</sup> まで1m <sup>3</sup> につき	160 円
		5,000m <sup>3</sup> を超える1m <sup>3</sup> につき	170 円
浴場用	基本料金	100m <sup>3</sup> まで	6,220 円
	超過料金	100m <sup>3</sup> を超える1m <sup>3</sup> につき	63 円

※平成26年度から消費税及び地方消費税分8%を加算している。

### ② 公共下水道（特環を除く）使用料金の変遷（1ヵ月につき）

（平成28年9月30日まで）

適用年月日		昭和44年4月1日		昭和48年4月1日	
区分	料金	水道料金の $\frac{80}{100}$		水道料金の $\frac{80}{100}$	
		基本料金	超過料金 (1m <sup>3</sup> につき)	基本料金	超過料金 (1m <sup>3</sup> につき)
家事用	8m <sup>3</sup> まで 188円	28円	43円	8m <sup>3</sup> まで 225円	43円
営業用	10m <sup>3</sup> まで 232円				
官公署、会社、学校、工場、その他	15m <sup>3</sup> まで 464円	40円		10m <sup>3</sup> まで 302円	
浴場用	20m <sup>3</sup> まで 584円	33円		100m <sup>3</sup> まで 302円	
工業用 1ヵ月3万m <sup>3</sup> 以上使用するもの	100m <sup>3</sup> まで 1,864円	20円		100m <sup>3</sup> まで 1,864円	20円
	3万m <sup>3</sup> までの水量	1m <sup>3</sup> につき30円		3万m <sup>3</sup> までの水量	1m <sup>3</sup> につき44円
	3万m <sup>3</sup> を超える水量	1m <sup>3</sup> につき26円		3万m <sup>3</sup> を超える水量	1m <sup>3</sup> につき40円
	6万m <sup>3</sup> を超える水量	1m <sup>3</sup> につき22円		6万m <sup>3</sup> を超える水量	1m <sup>3</sup> につき36円
	9万m <sup>3</sup> を超える水量	1m <sup>3</sup> につき20円		9万m <sup>3</sup> を超える水量	1m <sup>3</sup> につき32円
	12万m <sup>3</sup> を超える水量	1m <sup>3</sup> につき16円			

適用年月日		昭和50年8月1日		昭和51年4月1日	
区分	料金	水道料金の $\frac{70}{100}$		水道料金の $\frac{70}{100}$	
		基本料金	超過料金 (1m <sup>3</sup> につき)	基本料金	超過料金 (1m <sup>3</sup> につき)
家事用	8m <sup>3</sup> まで 296円	57円	74円	8m <sup>3</sup> まで 386円	74円
営業用	10m <sup>3</sup> まで 397円				
官公署、会社、学校、工場、その他	10m <sup>3</sup> まで 397円			10m <sup>3</sup> まで 516円	
浴場用	100m <sup>3</sup> まで 2,447円	26円		100m <sup>3</sup> まで 3,180円	35円
工業用 1ヵ月3万m <sup>3</sup> 以上使用するもの	3万m <sup>3</sup> までの水量	1m <sup>3</sup> につき58円		3万m <sup>3</sup> までの水量	1m <sup>3</sup> につき75円
	3万m <sup>3</sup> を超える水量	1m <sup>3</sup> につき52円		3万m <sup>3</sup> を超える水量	1m <sup>3</sup> につき68円
	6万m <sup>3</sup> を超える水量	1m <sup>3</sup> につき47円		6万m <sup>3</sup> を超える水量	1m <sup>3</sup> につき61円
	9万m <sup>3</sup> を超える水量	1m <sup>3</sup> につき42円		9万m <sup>3</sup> を超える水量	1m <sup>3</sup> につき54円

※水道料金比例制から下水道独自の従量制へ料金体系を変更（平成14年3月定例会）

適用年月日		平成14年10月1日	使用料	平成19年4月1日	使用料
一般用	基本料金	8m <sup>3</sup> まで	549円	8m <sup>3</sup> まで	670円
	超過料金	8m <sup>3</sup> を超える1m <sup>3</sup> につき	110円	8m <sup>3</sup> を超える1m <sup>3</sup> につき	134円
浴場用	基本料金	100m <sup>3</sup> まで	4,744円	100m <sup>3</sup> まで	5,788円
	超過料金	100m <sup>3</sup> を超える1m <sup>3</sup> につき	52円	100m <sup>3</sup> を超える1m <sup>3</sup> につき	63円

注) 平成26年4月1日から消費税及び地方消費税分8%を加算している。

③特定環境保全公共下水道、農業及び漁業集落排水、公設浄化槽に係る使用料金の変遷

(平成28年9月30日まで)

適用年月日		平成20年度まで	平成21年4月1日	平成22年9月1日	平成26年4月1日
事業区分	地区名	月額使用料	月額使用料	月額使用料	月額使用料
特定環境 公共下水道	野原	7,770 円	6,850 円	4,800 円	4,937 円
	三浜・小橋	8,400	7,200		
	神崎	7,100	5,940		
漁業集落 排水	成生	8,400	7,700		
	田井	8,400	7,000		
	千歳	8,400	6,900		
農業集落 排水	瀬崎	8,400	6,100		
	大丹生	8,400	6,100		
	平・赤野	7,770	5,470		
	久田美	7,770	5,470		
	池内	7,140	4,840		
	佐波賀	8,400	7,200		
	三日市・上東・下東	—	5,490		
	白杉	—	—		
公設浄化槽		7,300	6,100		

④公共下水道、集落排水、浄化槽の使用料体系統合後（平成28年3月定例会）

(平成28年10月1日～)

適用年月日		平成28年10月1日	使用料
一般用	基本料金	5m <sup>3</sup> まで	720 円
	超過料金	5m <sup>3</sup> を超え10m <sup>3</sup> まで1m <sup>3</sup> につき	60 円
		10m <sup>3</sup> を超え50m <sup>3</sup> まで1m <sup>3</sup> につき	150 円
		50m <sup>3</sup> を超え5,000m <sup>3</sup> まで1m <sup>3</sup> につき	160 円
		5,000m <sup>3</sup> を超える1m <sup>3</sup> につき	170 円
浴場用	基本料金	100m <sup>3</sup> まで	6,220 円
	超過料金	100m <sup>3</sup> を超える1m <sup>3</sup> につき	63 円

注) 平成26年度から消費税及び地方消費税分8%を加算している。

⑤ 収納状況及び有収水量の推移

○ 公共下水道事業

年度	区分	調定額 (円)	収納額 (円)	収納率		有収水量 (m <sup>3</sup> )	備 考
				(%)	現年度分		
昭和44		281,893	281,893	100.0		10,067	
45		1,295,075	1,289,170	99.5		46,041	
50		13,173,003	13,170,611	100.0		236,412	使用料改定
55		47,172,276	46,399,562	98.3		619,556	
59		83,088,648	81,481,018	98.1		1,106,290	
60		106,473,686	104,786,834	98.4		1,470,122	隔月徴収に変更したため 調定件数減
61		123,774,042	121,211,950	97.9		1,852,344	
62		138,651,159	135,500,958	97.7		2,123,123	
63		154,496,168	149,934,024	97.0		2,313,229	
平成元		166,969,279	160,811,876	96.3		2,533,858	
2		184,876,077	177,852,180	96.2		2,964,938	
3		196,732,723	189,033,457	96.1		3,139,429	
4		208,275,441	200,211,458	96.1		3,201,175	使用料体系変更
5		219,700,684	209,859,268	95.5		3,360,575	
6		235,750,286	223,362,123	94.7		3,644,209	
7		256,369,415	243,303,726	94.9		3,757,672	西処理区処理開始
8		285,921,941	272,803,132	95.4		3,871,136	
9		320,723,204	306,954,803	95.7		4,299,210	
10		352,155,246	336,076,093	95.4	98.9	4,714,691	
11		378,047,833	360,259,709	95.3	98.9	5,058,655	
12		406,544,541	386,407,540	95.0	98.8	5,456,327	
13		424,831,103	401,960,811	94.6	98.7	5,661,968	
14		541,231,534	512,766,549	94.7	98.4	5,851,421	
15		650,301,519	614,700,043	94.5	98.3	5,913,792	
16		666,280,167	624,396,092	93.7	98.1	6,024,546	
17		685,733,630	641,210,922	93.5	98.2	6,158,547	
18		687,127,239	638,972,897	93.0	97.7	6,186,627	
19		861,377,537	803,824,650	93.3	97.4	6,516,105	使用料改定
20		894,998,577	835,254,291	93.3	98.0	6,636,043	
21		929,619,274	868,916,685	93.5	98.0	6,876,539	
22		953,326,528	890,544,835	93.5	97.9	7,073,093	
23		958,174,280	893,411,058	93.2	97.9	7,084,257	
24		977,235,248	912,276,847	93.4	97.9	7,227,281	
25		994,956,100	931,278,977	93.6	98.0	7,383,738	
26		1,019,272,580	961,869,281	94.4	98.4	7,426,023	
27		1,021,726,803	971,569,602	95.1	98.5	7,451,416	
28		1,051,264,422	1,008,886,768	96.0	99.0	7,476,326	使用料改定
29		1,231,100,648	987,760,437	80.2	81.8	7,521,220	

※昭和48年度・昭和51年度においても使用料改定を実施

○ 特定環境保全公共下水道事業

区分 年度	調定額 (円)	収納額 (円)	収納率 (%)	有収水量 (m <sup>3</sup> )	備 考
昭和59	3,073,227	3,073,227	100.0	51,179	野原処理区供用開始
60	6,000,000	6,000,000	100.0	69,491	
61	6,000,000	6,000,000	100.0	70,608	
62	6,000,000	6,000,000	100.0	73,223	
63	6,000,000	6,000,000	100.0	76,365	
平成元	6,000,000	6,000,000	100.0	78,049	
2	6,000,000	6,000,000	100.0	80,327	
3	6,000,000	6,000,000	100.0	79,375	
4	5,836,296	5,836,296	100.0	76,234	
5	5,879,020	5,879,020	100.0	72,468	
6	5,880,740	5,880,740	100.0	69,477	
7	5,880,020	5,880,020	100.0	52,292	
8	5,880,020	5,880,020	100.0	55,092	
9	5,974,230	5,974,230	100.0	55,101	
10	5,993,256	5,993,256	100.0	54,409	
11	5,993,256	5,993,256	100.0	53,464	
12	5,993,256	5,993,256	100.0	52,228	
13	5,993,256	5,993,256	100.0	54,232	
14	5,993,256	5,993,256	100.0	52,687	
15	5,993,256	5,993,256	100.0	50,704	
16	12,311,040	12,311,040	100.0	67,760	三浜・小橋処理区供用開始
17	19,859,802	19,859,802	100.0	87,776	神崎処理区供用開始
18	27,744,035	27,744,035	100.0	106,639	
19	28,198,170	28,198,170	100.0	110,621	
20	31,011,085	31,011,085	100.0	122,197	
21	28,433,480	28,433,480	100.0	131,190	料金改定
22	25,578,735	25,578,735	100.0	129,756	料金改定
23	22,462,800	22,462,800	100.0	140,977	
24	22,405,200	22,405,200	100.0	125,465	
25	22,262,400	22,262,400	100.0	132,801	
26	22,733,761	22,728,824	100.0	124,227	
27	22,870,455	22,816,148	99.8	117,319	
28	18,925,338	18,843,903	99.6	116,836	料金改定
29	16,687,063	14,672,200	87.9	101,516	

※平成28年度に公共下水道と料金体系を統一

○漁業集落排水事業

区分 年度	調定額 (円)	収納額 (円)	収納率 (%)	有収水量 (m <sup>3</sup> )	備 考
平成 6	515,000	515,000	100.0	2,154	成生地区供用開始
7	2,472,000	2,472,000	100.0	5,758	
8	2,472,000	2,472,000	100.0	5,721	
9	2,512,000	2,512,000	100.0	5,380	
10	2,520,000	2,520,000	100.0	6,387	
11	5,111,400	5,111,400	100.0	17,322	田井地区供用開始
12	10,962,000	10,962,000	100.0	27,235	千歳地区供用開始
13	12,339,600	12,339,600	100.0	34,533	
14	12,684,000	12,684,000	100.0	36,072	
15	12,684,000	12,684,000	100.0	37,705	
16	12,751,200	12,751,200	100.0	37,350	
17	12,818,400	12,818,400	100.0	37,922	
18	12,902,400	12,902,400	100.0	37,615	
19	12,752,619	12,752,619	100.0	36,799	
20	12,902,400	12,902,400	100.0	36,748	
21	10,963,000	10,963,000	100.0	34,182	料金改定
22	9,214,200	9,214,200	100.0	35,840	料金改定
23	7,430,400	7,430,400	100.0	36,508	
24	7,444,800	7,444,800	100.0	36,944	
25	7,454,400	7,454,400	100.0	31,802	
26	7,624,803	7,605,055	99.7	30,260	
27	7,598,043	7,578,295	99.7	29,977	
28	6,128,233	6,095,671	99.5	30,180	料金改定
29	4,489,248	3,888,549	86.6	29,918	

○農業集落排水事業

区分 年度	調定額 (円)	収納額 (円)	収納率 (%)	有収水量 (m <sup>3</sup> )	備 考
平成10	5,922,000	5,922,000	100.0	6,927	大丹生地区・瀬崎地区供用開始
11	7,560,000	7,560,000	100.0	23,411	
12	7,560,000	7,560,000	100.0	25,013	
13	7,887,600	7,887,600	100.0	27,476	
14	12,654,390	12,654,390	100.0	42,842	平・赤野地区供用開始
15	23,004,030	23,004,030	100.0	82,954	久田美地区供用開始
16	38,745,630	38,745,630	100.0	145,697	池内地区供用開始
17	42,903,210	42,903,210	100.0	152,830	
18	46,388,790	46,388,790	100.0	164,994	佐波賀地区供用開始
19	48,383,580	48,383,580	100.0	170,331	
20	48,765,990	48,765,990	100.0	170,594	
21	37,163,580	37,163,580	100.0	174,115	三日市・上東・下東地区供用開始 料金改定
22	37,843,740	37,843,740	100.0	187,239	料金改定
23	36,398,400	36,355,200	99.9	188,738	
24	37,036,800	36,969,600	99.8	214,692	白杉地区供用開始
25	38,217,600	38,044,800	99.7	196,083	
26	39,009,940	38,787,770	99.4	196,464	
27	39,989,705	39,715,973	99.3	185,816	
28	32,472,270	32,282,834	99.4	181,620	料金改定
29	27,985,480	24,199,891	86.5	168,182	

○公設浄化槽事業

区分 年度	調定額 (円)	収納額 (円)	収納率 (%)	有収水量 (m <sup>3</sup> )	備 考
平成17	43,800	43,800	100.0	344	
18	4,562,500	4,562,500	100.0	12,050	
19	10,650,700	10,650,700	100.0	29,680	
20	15,008,800	15,008,800	100.0	43,263	
21	17,708,300	17,708,300	100.0	72,489	料金改定
22	22,115,800	22,115,800	100.0	82,709	料金改定
23	25,411,200	25,382,400	99.9	111,033	
24	31,574,400	31,502,400	99.8	132,933	
25	35,342,400	35,188,800	99.8	135,415	
26	38,148,842	37,945,872	99.5	147,679	
27	40,424,709	40,191,869	99.4	152,183	
28	34,716,504	34,465,608	99.3	160,016	料金改定
29	28,805,593	25,077,710	87.1	182,955	

## 事業別有収水量・調定額の推移

(消費税込み)

事業 区分	30			
	調定額 (円)	収納額 (円)	収納率 (%)	有収水量 (m <sup>3</sup> )
公共下水道	1,107,977,277	977,409,112	88.2	7,513,990
特定環境保全 公共下水道	13,191,365	11,816,773	89.6	89,376
農業集落排水	22,210,849	19,335,516	87.1	152,937
漁業集落排水	3,931,116	3,230,347	82.2	27,014
公設浄化槽	23,687,507	20,572,326	86.8	166,736
合 計	1,170,998,114	1,032,364,074	88.2	7,950,053

※平成30年度から地方公営企業法適用